

平成24年10月31日

うるま市長
島袋俊夫様

うるま市行政改革推進委員会
(補助金審査委員会)
会長 照屋寛之

平成24年度うるま市補助金等に関する審査結果について

この度、うるま市行政改革推進委員会規則第2条第3項及びうるま市補助金制度に関する指針に基づき、うるま市が行う補助金等について審査を行ったところでありますが、審査委員会としての提言を別紙「平成24年度うるま市の補助金等に関する審査結果について」のとおり取りまとめましたのでここに報告いたします。

平成24年度

うるま市の補助金等に関する審査結果について

平成24年10月

うるま市補助金審査委員会

目 次

第 1 審査の対象と方法	1
審査の対象	
審査方法	
第 2 審査結果概要	2
総括	
総合評価内訳	
第 3 個別審査結果	4
◇ 付属資料	10

第1 審査の対象と方法

1 審査の対象

前年度同様、すべての部署の補助金等を対象に、事務局が調製したリストの中から各委員が2点をピックアップし、委員会で最終選定した11件の補助金等を対象に審査した。ただし、以下のものを除く。

- ・出席者負担金
- ・法令（市条例は除く）に定めのある負担金

2 審査方法

審査結果を新年度の予算編成に反映させるため、10月までに審査を終えることにした。

審査は個別の補助金等について、事前に事務事業評価票（補助金交付型）、事業報告書、決算書等の資料の提出を求め、担当部署ごとにヒアリングを実施し以下の要領で行った。

- ①「うるま市補助金制度に関する指針」に定める「交付基準」を踏まえ評価を行い、「見直し基準」により方向性を判断する。
- ②審査対象補助金を1回あたり5～6件を目途に審査する。
- ③審査では、補助金審査票（事務事業評価票・補助金交付型）及び関連資料を基に担当課ヒアリングを実施する。ヒアリングは、うるま市補助金制度に関する指針に示した補助金交付基準（1. 事業の公共性、2. 事業の効果性（有効性・効率性・適時性）、3. 団体等の適格性など）に基づき、市民の視点から補助の必要性、額の妥当性等を検証する。
- ④上記審査に基づき、委員会としての総合評価（A、B、C、D）を決定し、その理由や意見、見直しの方向性等を取りまとめる。

第2 審査結果概要

1 総括

うるま市における補助金等のあり方について、市民の目線で審査を行うために当委員会が設置され、今回で6度目の審査となった。市民の立場から補助金等を確認していくことは行政改革として大変重要なことであり、補助金等が設定された趣旨や、時代の流れの中で本当に相応しいのか、常に検証していく必要がある。

今回、各委員が2点ずつピックアップした補助金等の中から、委員会で最終的に選定し、担当部署の事務事業評価票を基にヒアリングを行い、「うるま市補助金制度に関する指針（平成18年11月策定）」（以下、「指針」）に基づいて「本当に必要な補助金か」「額は妥当か」「運営上の課題はないか」の視点から審査を行った。審査の結果として、まず始めに総括的な指摘事項として以下のとおり提言する。

（1）財政的自立へ向けた補助団体の育成

今回、審査した団体等においては、経営体制がしっかりと確立できており、財政的自立が可能と思われる団体が数件見られた。市担当部署においては、形式的・慣習的に補助金を継続するのではなく、常に団体等の自立へ向けた補助金であることを念頭に入れていただきたい。補助団体に対しても、「補助金ありき」の概念から脱却させ、市からの補助金は継続的なものではなく、一時的な補助であることを常に意識づけ、財政的自立に向けた取り組みを促す必要がある。そして、団体等の運営状況を見極め、場合によっては補助金の縮小、廃止も含めて検討していただきたい。

さらに、既得権や前例にとらわれない客観性と公平性を確保しながら、効果がある事業には適切な補助ができる仕組みを構築していただきたい。

（2）事業費補助への転換

事業費に比べ人件費の割合がかなり大きい団体が数件みられた。補助金額に対して職員の給与が非常に高く、担当部署は補助団体と連携をとり、給与の適正化を早急に図るとともに、事業費の充実を図る必要がある。団体の運営が軌道にのった段階で事業費補助へ切り替える等、団体の運営に係る経常的な経費はしっかり精査し、最小限になるよう効率化を図っていただきたい。

(3) 補助期間の終期設定

補助期間について、一度交付の決定をされた補助金等については長年にわたり、継続して交付され、終期を設定していない団体が数件みられた。指針では、常に変化する市民ニーズに的確に対応するとともに交付先や交付対象事業の固定化を防止する意味から、終期設定を原則としている。継続する必要がある場合は補助金見直し基準等に基づき審査を行い方向性を判断するとしており、各団体はしっかりと終期設定を行い、定期的に効果の検証を行っていただきたい。

(4) 改善事項の確実な実施

前回審査で指摘事項があったにもかかわらず、いまだ改善の様子が見られないものもあった。これまで行ってきた審査対象補助金等に対する審査委員会の意見がどのように反映されたか、改善されたか確認する必要がある。担当部署においては審査委員会の意見を真摯に受け止めて、意識改革を図るとともに、確実に改善していくことが大事である。

(5) 補助金に係る情報公開の推進

補助金に係る情報公開が十分になされていない団体が見受けられる。本来、事業の評価は、市民の立場に立って判断すべきものであり、そのためにも、補助金に係る情報公開を積極的に進める必要がある。補助金に対する透明性を確保するためにも補助団体等の活動内容や使途・会計処理、成果の公表など、その団体等の自主性や自立性に配慮しながら、情報公開を進めることが望ましい。

(6) まとめ

今回の審査で、指摘事項の改善が図られていないものや審査結果が予算に反映されていないものがみられた。委員会の評価を次年度の予算に反映させたい思いがあり、その対応を求めたいところである。

今後は、補助金が有意義かつ効果的に機能するために、市担当部署においても創意工夫し、責任感と自覚を併せ持っていただきたい。

また、補助対象事業の効果は、広く市民に波及すべきものであり、交付されている団体はこの点を常に忘れることなく、成果の公表・その他必要な措置をしっかりと講じるべきである。

さらに、補助金を活用する団体は、公正で効果の高い事業を展開していくことを要望する。

2 総合評価内訳

- A：更に充実させる方向で見直し 0件
- B：現状のまま継続 7件
- C：効率化・コスト削減の方向で見直し 2件
- D：縮小・廃止を前提とした見直し 2件

第3 個別審査結果

うるま市観光物産協会補助金【商工観光課】

「うるま市観光物産協会補助金」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

受託事業で利益を得ることが中心になっているが、観光物産協会の本来の設立趣旨をもう一度考えていただきたい。これまでの自主事業は評価し、観光客の誘致や観光につながる仕事の提案、うるま市をPRすることなど観光に対し、発展性を持たせる努力をしていただきたい。

また、自主財源の確保のためにも広報・周知活動等を継続的に行い、会員数を増やす努力をしていただきたい。

さらに、物産に関しては、販売だけでなく、商品の開発、販路開拓・拡大に力をいれていただきたい。

うるま市シルバー人材センター運営補助金【企業立地雇用推進課】……………

「うるま市シルバー人材センター運営補助金」の評価のまとめ

総合評価

D：縮小・廃止を前提とした見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

高齢者の雇用や生きがいづくりにつながる事業に対し高く評価する。しかし、補助金額に対し、職員の給料が非常に高く、他市町村と比較しても給与の適正化を早急に図る必要がある。

また、これだけの経営体制を確立させている組織であるならば、早期の財政的自立が図られるよう努めていただきたい。

高齢者事業は重要であることは認識しているが、担当部署においては審査委員会の意見を真摯に受け止め、対応していただきたい。

土地改良事務連合会及び土地改良区合同事務所補助金【農水産整備課】……………

「土地改良事務連合会及び土地改良区合同事務所補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

農業振興の施策に取り組みながら、最終的には組合の健全な経営体制を確立させ、早期の自立が図られるよう努めていただきたい。

予算に対する人件費の割合が高いため、今後、職員の雇用形態の検討、給与の適正化を図っていただきたい。その点において、担当部署は理事会との連携をしっかりとっていただきたい。

江洲区画整理事業地区境界線道路整備事業（江洲組合助成金）【区画整理課】・・・

「江洲区画整理事業地区境界線道路整備事業（江洲組合助成金）」の評価のまとめ
総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

長期にわたる事業であり、これ以上の財政負担を避けるためには、計画どおりに事業を進め、平成26年度の事業完了に向けて取り組んでいただきたい。

石川西土地区画整理組合換地処分事業補助金【区画整理課】・・・・・・・・・・

「石川西土地区画整理組合換地処分事業補助金」の評価のまとめ
総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

健全な市街地形成を目指す必要があるが、これ以上の財政負担を避けるには、予定通りに事業を進め、早めの完了に努めていただきたい。

悪臭問題等の大きな課題はあるが、担当部署においては理事会としっかり連携をとり、保留地の販売方法、価格設定等の見直しを図っていただきたい。

江洲第二土地区画整理換地処分事業補助金【区画整理課】・・・・・・・・・・

「江洲第二土地区画整理換地処分事業補助金」の評価のまとめ
総合評価

D：縮小・廃止を前提とした見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

健全な市街地形成を目指し、これ以上の財政負担を避けるために、予定通りに事業を進め、今年度で事業を完了させていただきたい。

うるま市社会福祉協議会運営補助金【生活福祉課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「うるま市社会福祉協議会運営補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

近隣市町村と比較し、広範囲に事業を展開していることは高く評価する。しかし、事業内容が重複しているものも多く、事業の圧縮が必要と思われる。委託する側（担当部署）はしっかり精査し、事業の効率化を図っていただきたい。

また、人件費と事業費の歳出バランスがとれておらず、この件に関しては、前回の評価から改善がみられないこともあり、努力を要するところである。今後は事業費補助への積極的な転換を検討していただきたい。

さらに、人事に関してはそのあり方を明確にしていきたい。特に管理職の選定方法の適正化を求める。

今後もさらに充実した福祉を目指し頑張ってください。

保育対策等促進事業助成費【保育課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「保育対策等促進事業助成費」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

市の交付要綱に基づいて適正に執行されており問題ない。今後は良い人材（保育士）を育てることが重要であり、雇用形態の検討、給与の適正化等、よりよい保育体制を整えていただきたい。

また、これからの時代、乳幼児期からの教育が大切となってくるため、さらなる保育の充実も望むところである。

今後も保育事業の向上に積極的に取り組んでいただきたい。

交通路線維持費補助金【市民生活課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「交通路線維持費補助金」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

車社会の中で、公共的乗り物が、独立採算を維持することは難しいが、市民の足を確保するためには必要性の高い補助金である。しかし、財政負担の増大を避けるためにも、効率的運用を図ることができるようバス会社に対し、常に働きかけが必要である。

中頭地方視聴覚協議会負担金【生涯学習振興課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「中頭地方視聴覚協議会負担金」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

利用率を高めるため、説明会を行う等、広報・周知方法をしっかり検討し、市民に広く広報すべきである。利用団体を増やすためにも主旨の浸透を図ることが重要となってくる。

また、教材等が時代のニーズにあっているか等を検証し、教材の選定に係る利用者アンケートをとっていただきたい。その中で、今必要とされているものをしっかり把握する必要がある。

今後は、事業の展開方法、周知方法を工夫するとともに、効率的な運用を図ることが望まれる。

「議会政務調査費」の評価のまとめ

総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

行政視察等調査報告書の提出については会派のみの提出ではなく、各人がそれぞれ報告をするようになったことは、前回の審査からの改善点であり、高く評価できる。

今後は、さらなる透明性の確保を図るためにも個人の報告書をホームページ等から閲覧できるように改善を望む。

なお一層の調査研究に励むことにより、議会を活性化し、議員の審議能力を高めていただきたい。

◇付属資料

うるま市補助金審査委員会委員名簿

	区 分	氏 名	役 割 等
1	委員長	テ ル ヤ ヒ ロ ユ キ 之 照 屋 寛 之	学識経験者
2	副委員長	イ ハ ヒ ロ シ 洋 伊 波 洋	市民代表
3	委 員	フ ク ハ ラ ト オ ル 徹 福 原 徹	市民代表
4	委 員	ナ カ チ ハ ジ メ 一 仲 地 一	市民代表
5	委 員	オ ヤ ド マ リ マ サ ヨ シ 吉 親 泊 正 吉	市民代表
6	委 員	ト ク チ ヒ ロ ユ キ 之 渡 久 地 博 之	公募委員
7	委 員	ナ ガ ハ マ ユ タ カ 豊 長 浜 豊	公募委員
8	委 員	チ ネ ン ミ ツ ノ リ 憲 知 念 光 憲	公募委員
9	委 員	イ ハ マ サ カ ズ 和 伊 波 正 和	公募委員
10	委 員	カ ワ モ ト ヨ シ ハ ル 春 川 本 芳 春	公募委員
11	委 員	ソ ノ サ キ カ ヨ コ 子 園 ノ 崎 香 代 子	公募委員
12	委 員	ガ キ ヤ サ ト シ 賢 我 キ ヤ サ ト シ 賢	市民代表
13	委 員	イ ケ ハ ラ ト モ コ 子 池 ケ 原 ラ ト モ コ 子	市民代表
14	委 員	カ ワ ノ エ ツ コ 子 川 ノ 野 エ ツ コ 子	市民代表
15	委 員	ヘ シ ザ ン カ ヨ コ 子 平 シ ザ ン カ ヨ コ 子	市民代表

平成24年度 うるま市補助金審査委員会審査経過

日 程	事 項	内 容
6月12日(火) ～6月18日(月)	各委員による選定作業	補助金等の中から各委員2件ずつ選定
6月22日(金)	第1回行政改革推進委員会	補助金審査対象事業の選定
8月9日(木)	第1回補助金審査委員会	①「うるま市補助金審査委員会設置に関する方針」の確認 ②平成24年度補助金審査委員会日程等の確認 ③審査方法の確認 ④個別補助金について審査【6件】
9月14日(金)	第2回補助金審査委員会	①第1回委員会、議事録及び評価のまとめ確認 ②個別補助金について審査【5件】
10月11日(木)	第3回補助金審査委員会	審査結果報告書の作成
10月31日(水)	平成24年度補助金等に関する審査結果について	補助金審査結果を市長へ報告